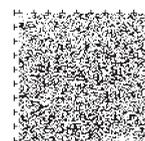
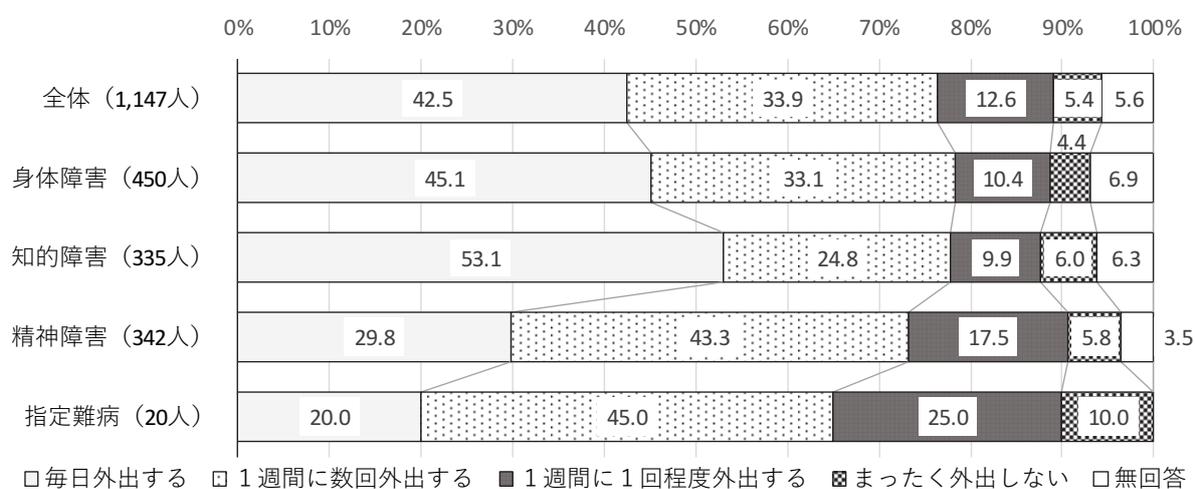


## 4. 日中活動について

### (1) 1週間の外出頻度

「毎日外出する」が 42.5%、「1週間に数回外出する」が 33.9%となっています。知的障害では「毎日外出する」(53.1%)とする人が多く、精神障害(43.3%)と指定難病(45.0%)では「1週間に数回外出する」とする人が多くなっています。

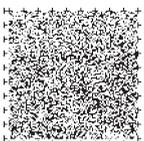
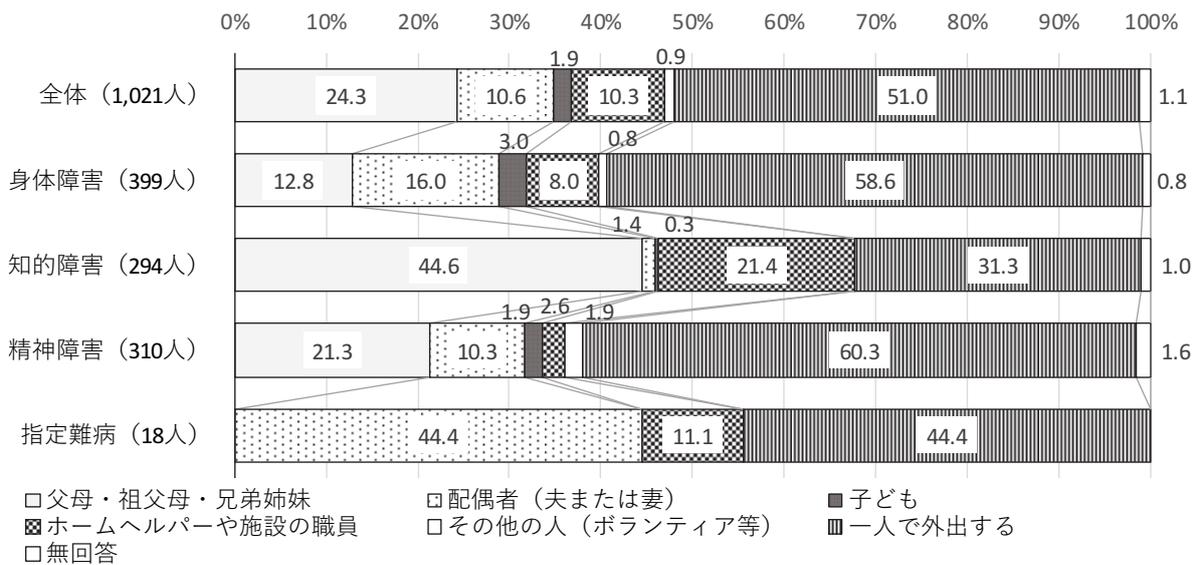
#### 外出の頻度、障害別



## (2) 外出時の同伴者

最も多いのは、「一人で外出する」(51.0%)となっています。障害別に見ると、精神障害の60.3%、身体障害の58.6%、指定難病の44.4%が「一人で外出する」としていますが、知的障害では31.3%と少なくなっています。知的障害の44.6%が「父母・祖父母・兄弟姉妹」としており、半数近くが家族と一緒に外出していることがわかります。

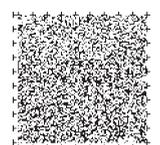
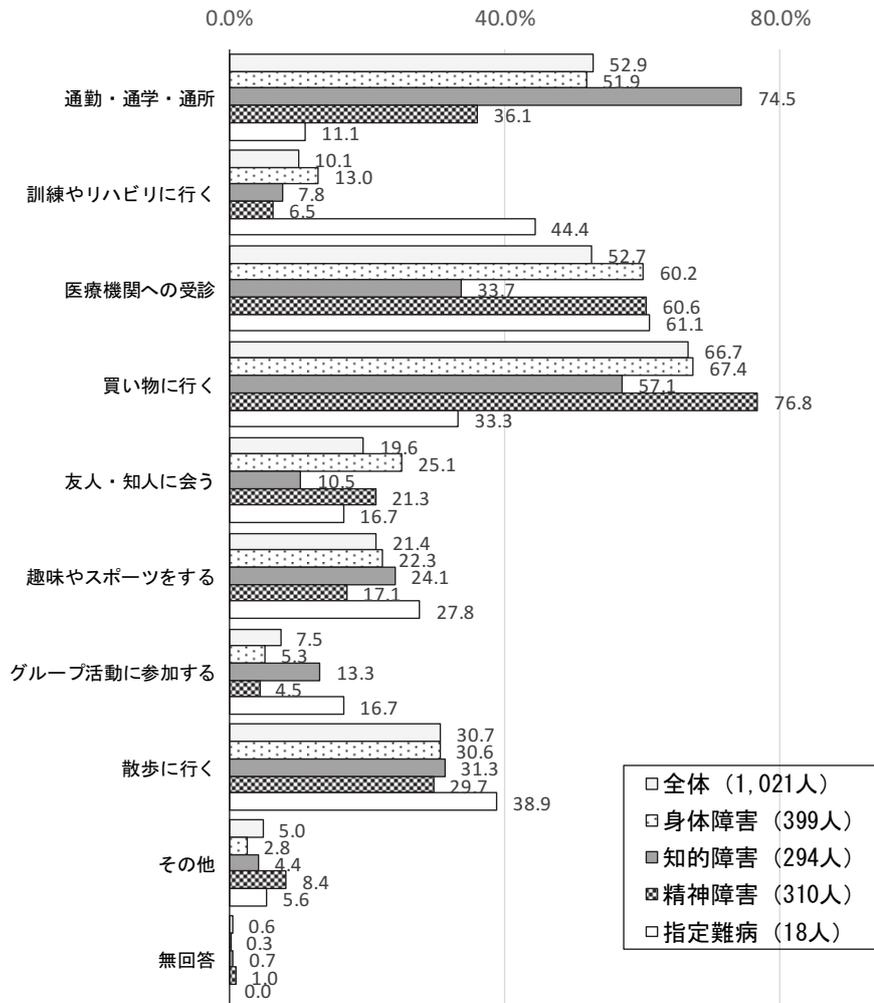
外出時の同伴者、障害別



### (3) 外出の目的

「買い物に行く」が66.7%で最も多く、次いで「通勤・通学・通所」が52.9%、「医療機関への受診」が52.7%です。また、知的障害では「通勤・通学・通所」が最も多く、74.5%となっています。

外出の目的、障害別(複数回答)

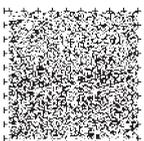
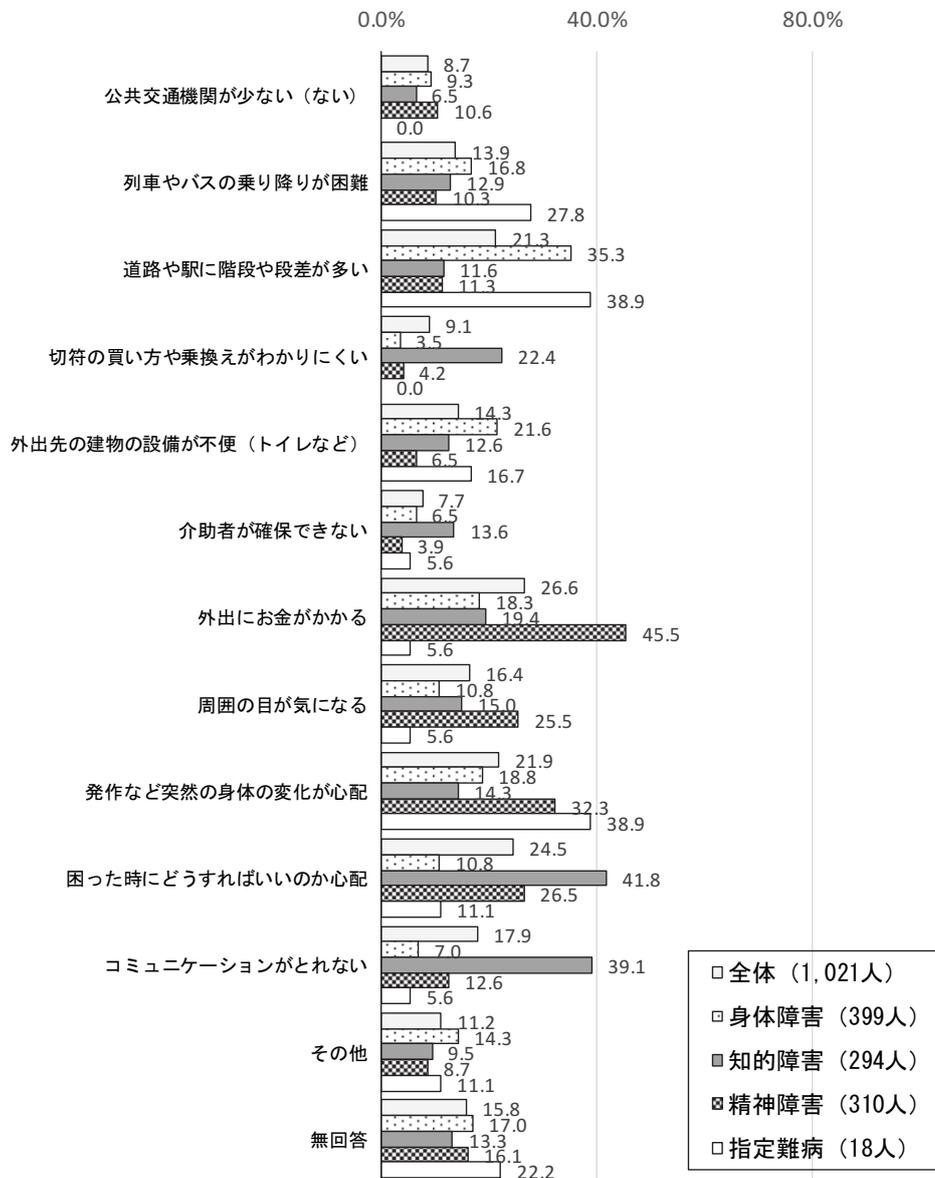


#### (4) 外出時に困ること

困りごとは多方面に渡り、「外出にお金がかかる」(26.6%)、「困った時にどうすればいいのか心配」(24.5%)、「発作など突然の身体の変化が心配」(21.9%)の順に多くなっています。

身体障害では「道路や駅に階段や段差が多い」(35.3%)、知的障害では「困った時にどうすればいいのか心配」(41.8%)、精神障害では「外出にお金がかかる」(45.5%)、指定難病では「道路や駅に階段や段差が多い」と「発作など突然の身体の変化が心配」(38.9%)がそれぞれ最も多くあげられています。

外出時の困りごと、障害別(複数回答)

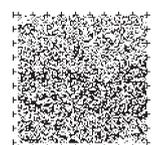
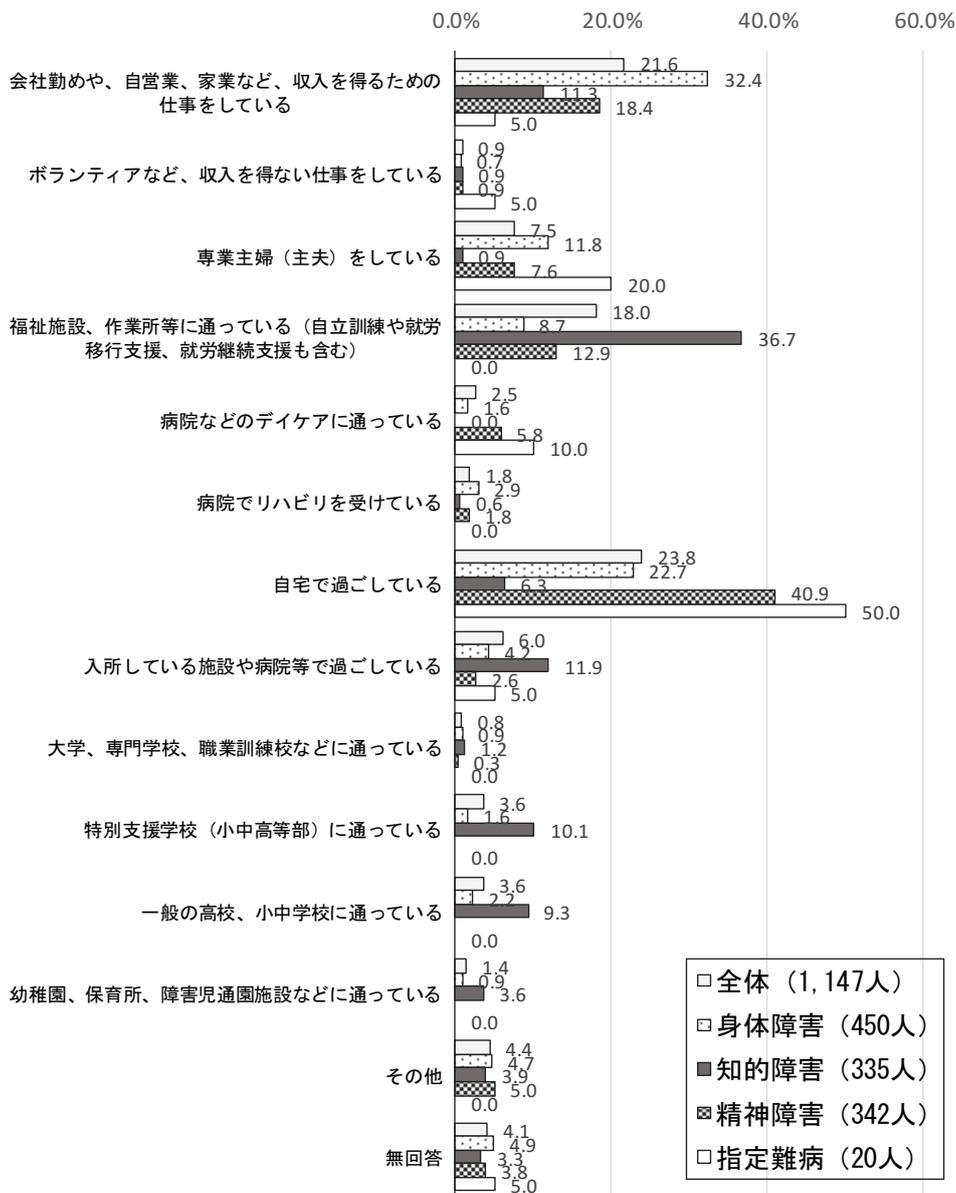


(5) 平日の日中の過ごし方

「自宅で過ごしている」(23.8%)と「会社勤めや、自営業、家業など、収入を得るための仕事をしている」(21.6%)が最も多くあげられています。

知的障害では「福祉施設、作業所等に通っている」(36.7%)が最も多く、身体障害では「会社勤めや、自営業、家業など、収入を得るための仕事をしている」(32.4%)、精神障害(40.9%)、及び指定難病(50.0%)では「自宅で過ごしている」が最も多くなっています。

日中の過ごし方、障害別

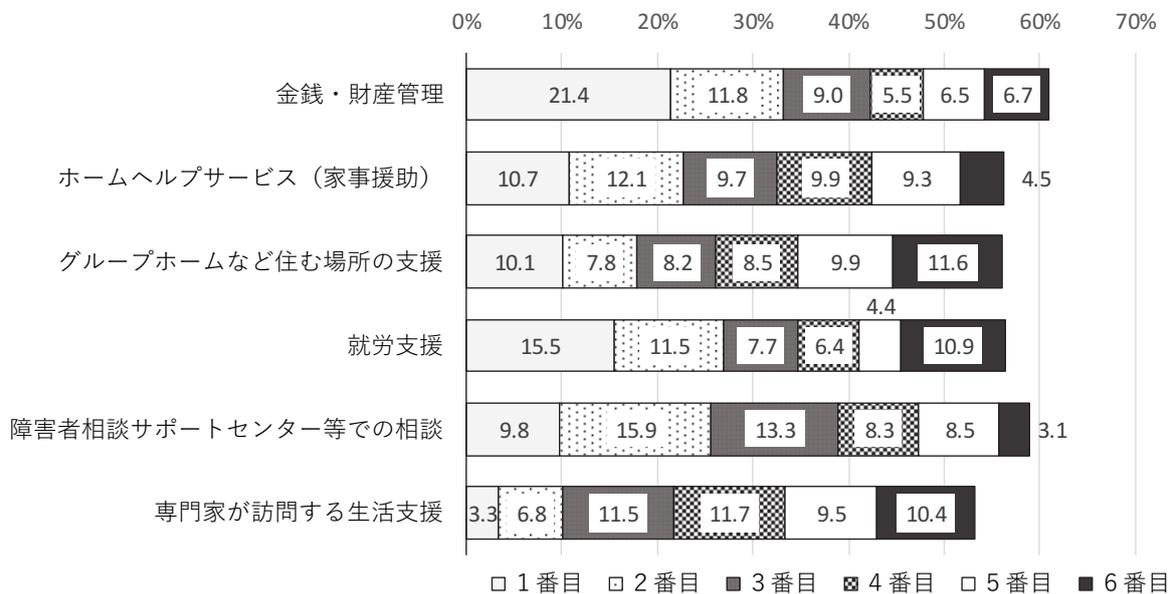


## (6) ふだんの生活に必要な支援

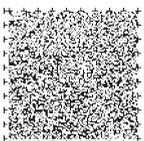
全体として、普段の生活に必要な支援の1番目を「金銭・財産管理」とする回答が21.4%と最も多く、次いで「就労支援」が15.5%となっています。

障害別で見ると、1番目は「金銭・財産管理」が最も多く、身体障害では19.1%、知的障害では22.7%、精神障害では23.1%、指定難病では25.0%となっています。知的障害では、「グループホームなど住む場所の支援」（21.5%）や「就労支援」（20.6%）も1番目とする回答が多くなっています。

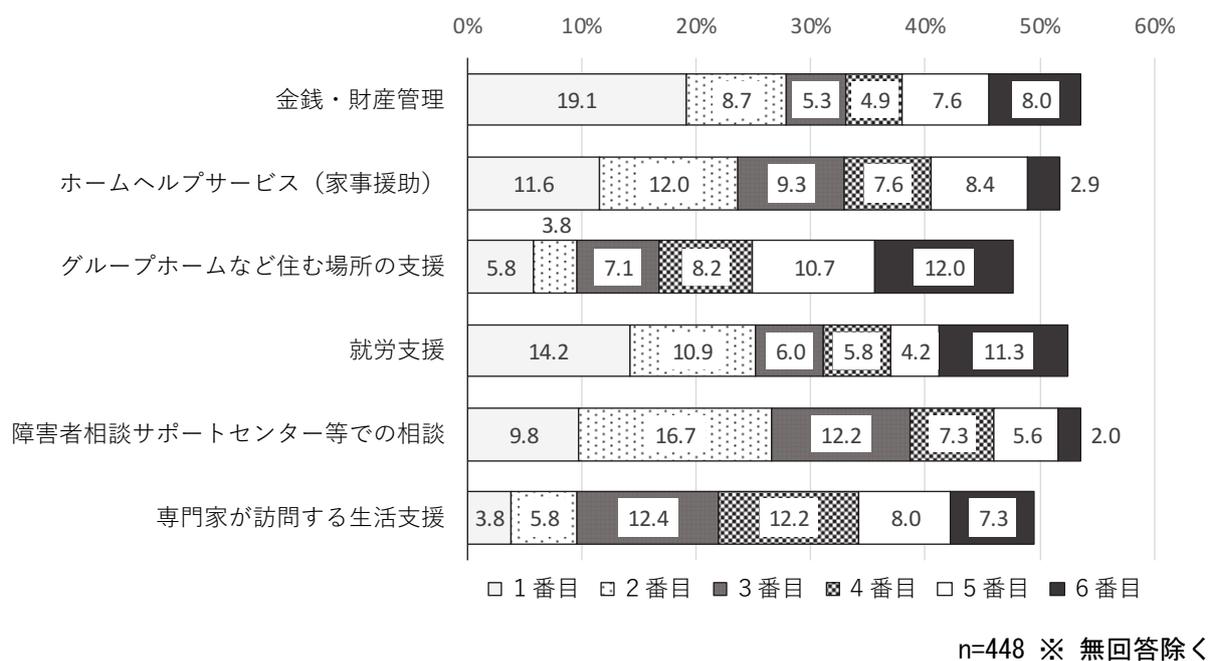
### 1. 全体



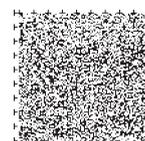
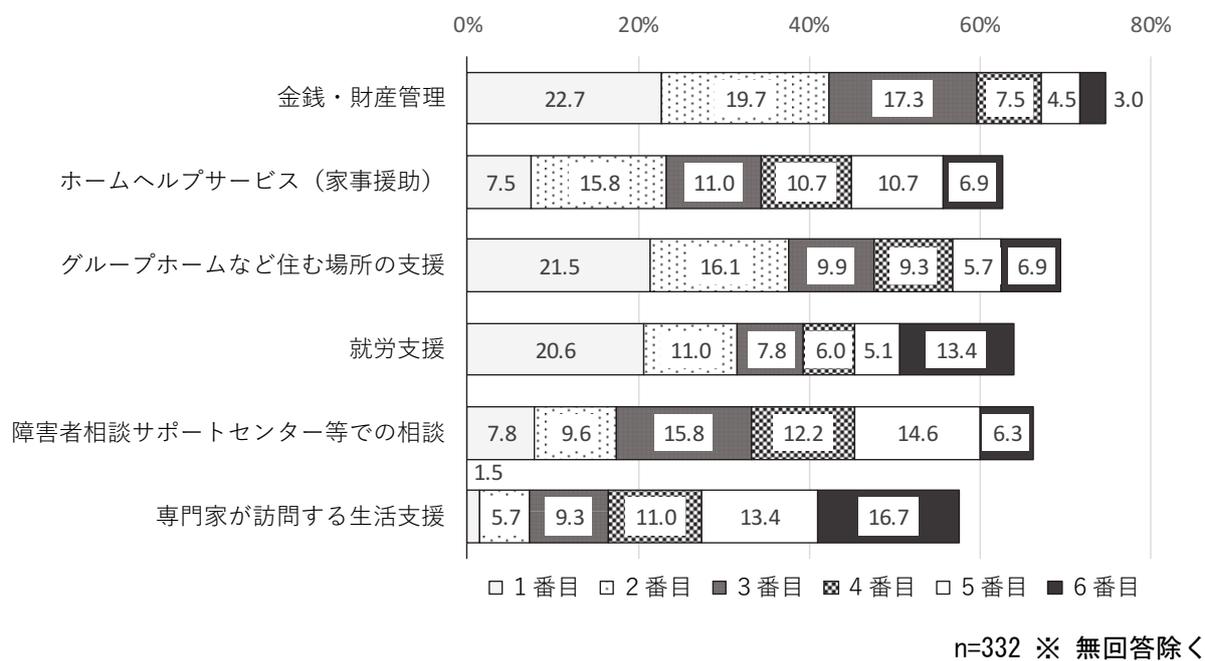
n=1,141 ※ 無回答除く



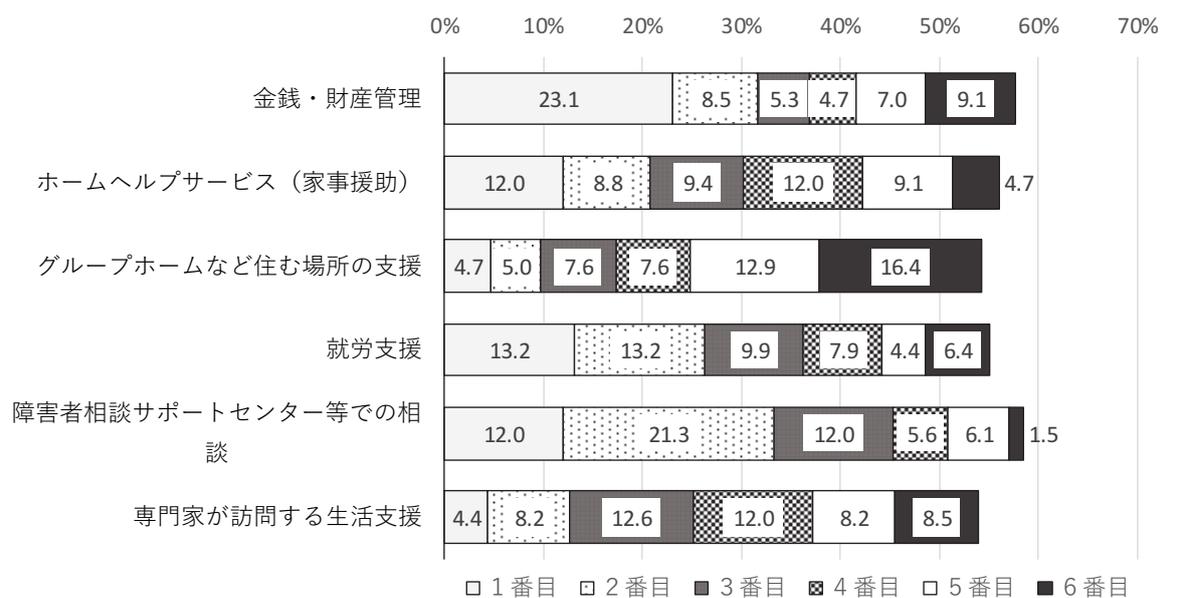
## 2. 身体障害



## 3. 知的障害

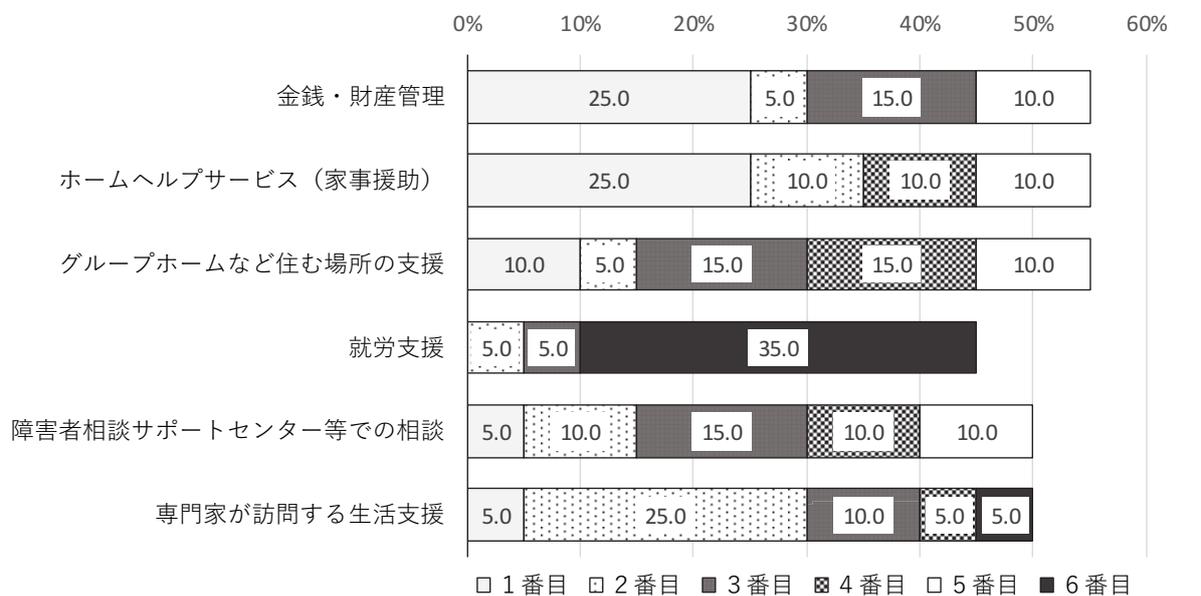


## 4. 精神障害

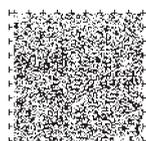


n=341 ※ 無回答除く

## 5. 指定難病



n=20 ※ 無回答除く



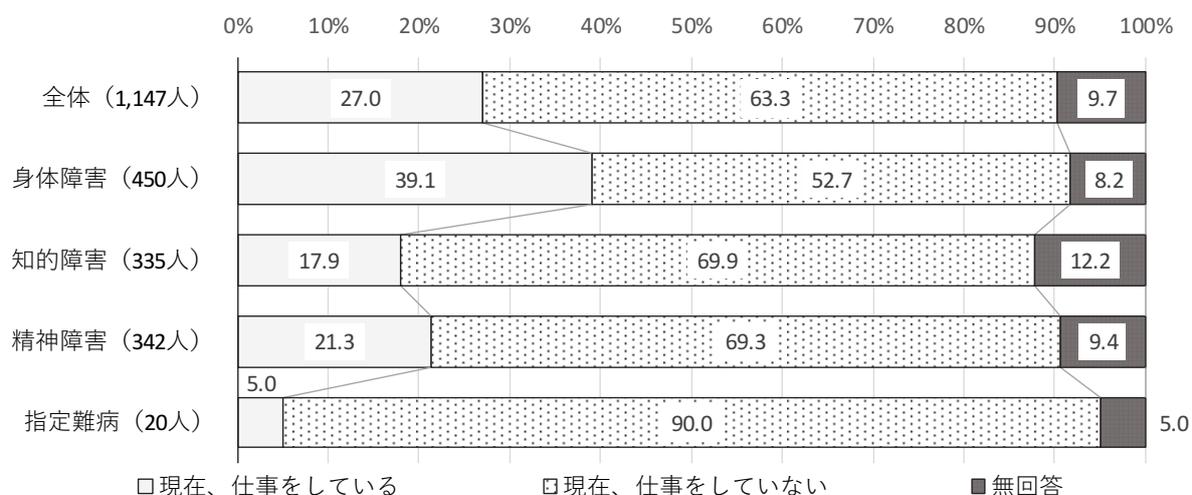
## 5. 仕事について

### (1) 仕事の有無

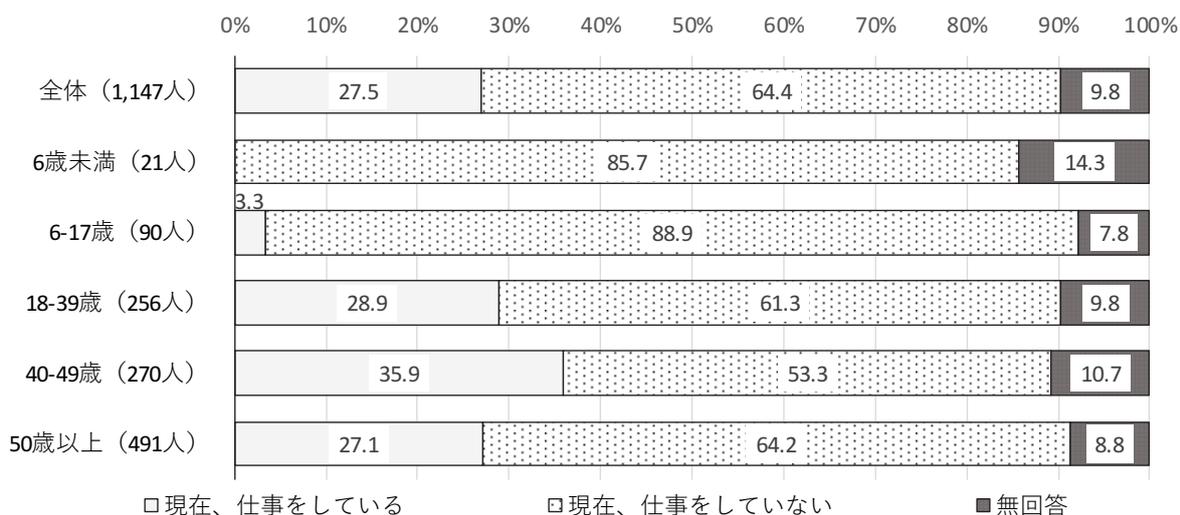
身体障害では 39.1%、知的障害では 17.9%、精神障害では 21.3%、指定難病では 5.0%の人が現在仕事をしています。

仕事をしている人を年齢別に見ると、18～39 歳では 28.9%、40～49 歳では 35.9%、50 歳以上では 27.1%となっています。

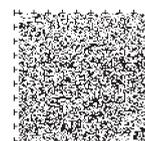
#### 現在仕事をしているか、障害別



#### 現在仕事をしているか、年齢別



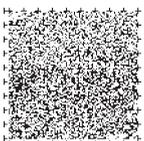
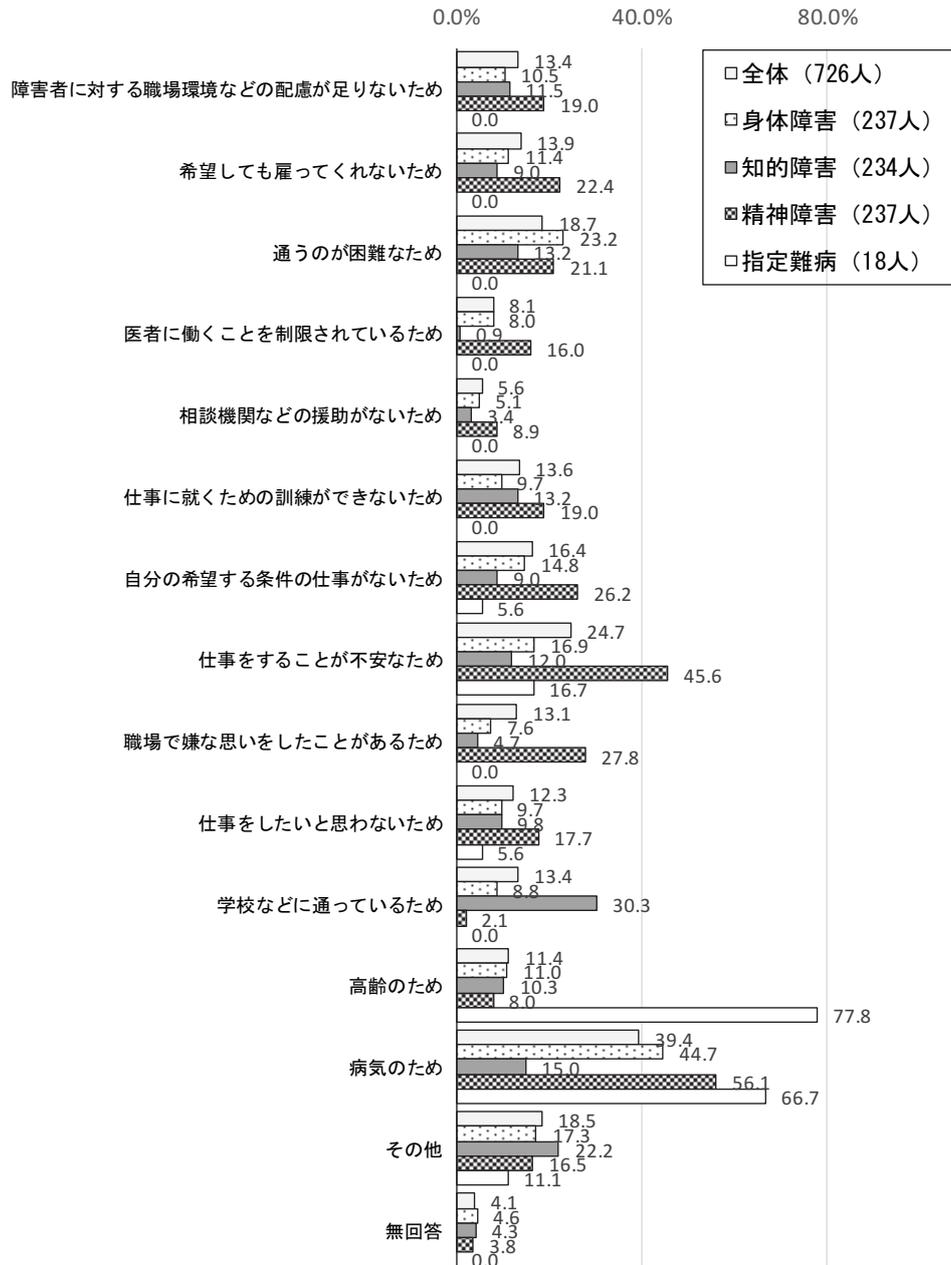
※年齢の問に対して無回答があるため、各年齢の合計と全体の人数は一致しない。



## (2) 現在仕事をしていない事情

仕事をしていない理由で最も多いのは「病気のため」です。全体では39.4%、身体障害では44.7%、精神障害では56.1%となっています。また、知的障害では「学校などに通っているため」（30.3%）が最も多くなっています。

仕事をしていない事情、障害別(仕事をしていない人) (複数回答)

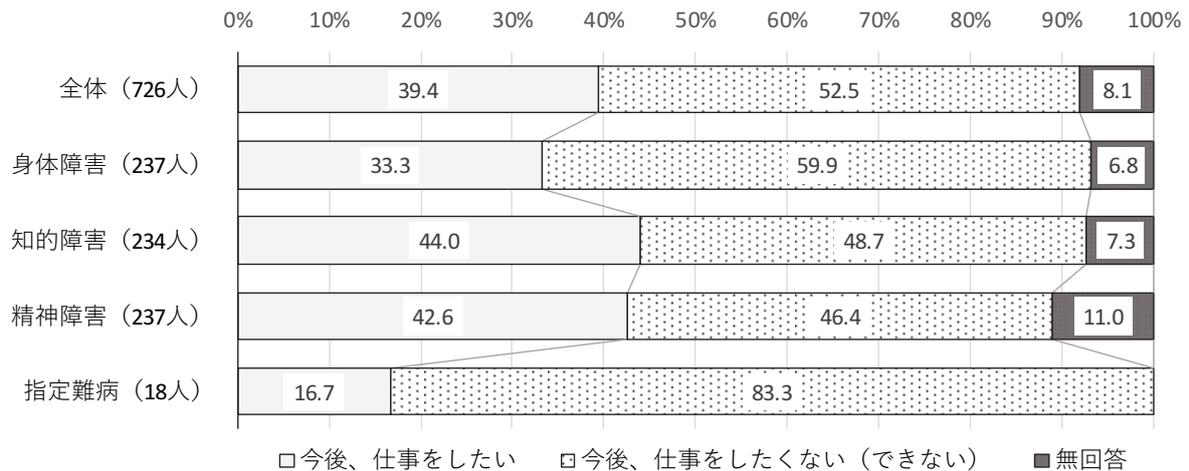


### (3) 仕事をしたいかの希望

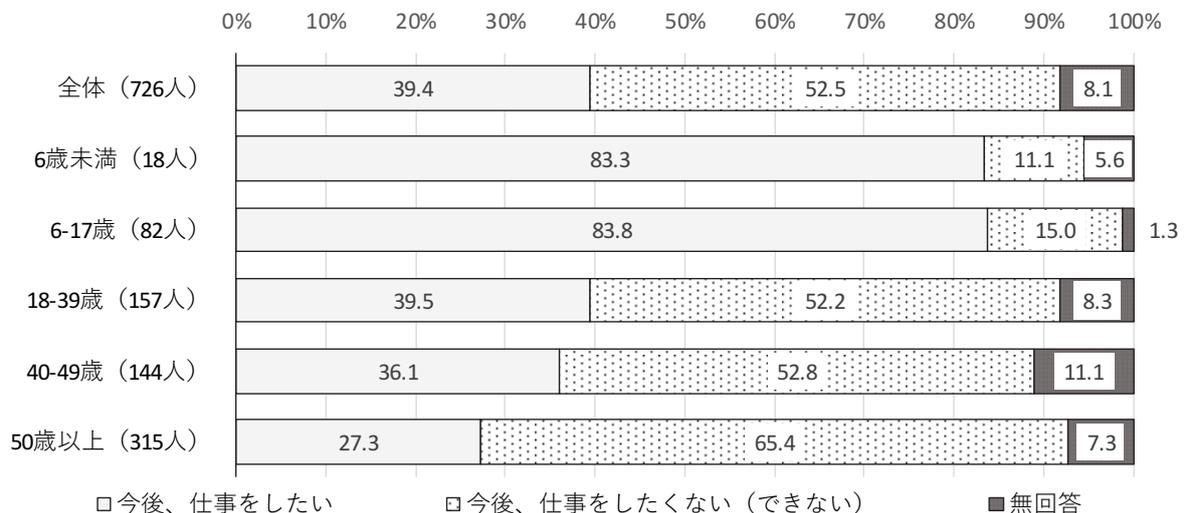
現在仕事をしていない方のうち 39.4%が「今後、仕事をしたい」としています。

年齢別に見ると、「今後、仕事をしたい」とする人は 18～39 歳で 39.5%、40～49 歳で 36.1%、50 歳以上で 27.3%となっており、年齢が上がるにつれて少なくなっています。

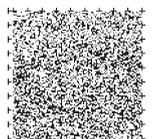
#### 今後仕事をしたいか、障害別（現在仕事をしていない方）



#### 今後仕事をしたいか、年齢別（現在仕事をしていない方）



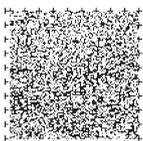
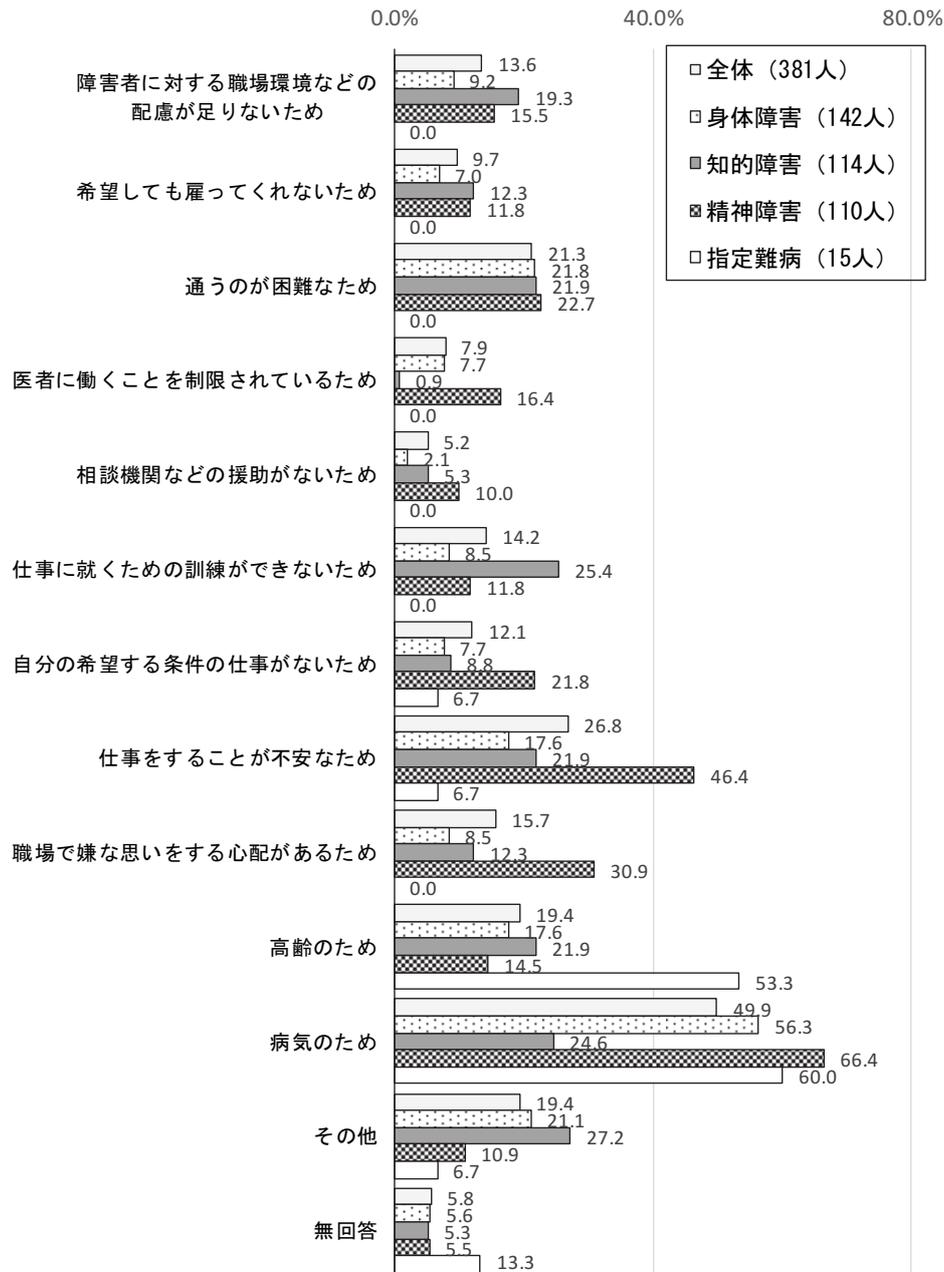
※年齢の問に対して無回答があるため、各年齢の合計と全体の人数は一致しない。



#### (4) 仕事をしたくない（できない）理由

仕事をしたくない（できない）理由で最も多いのは「病気のため」です。全体では49.9%、身体障害では56.3%、精神障害では66.4%、指定難病では60.0%となっています。知的障害では「仕事に就くための訓練ができていないため」（25.4%）が最も多くなっています。

#### 仕事をしたくない（できない）理由（複数回答）

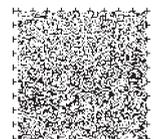
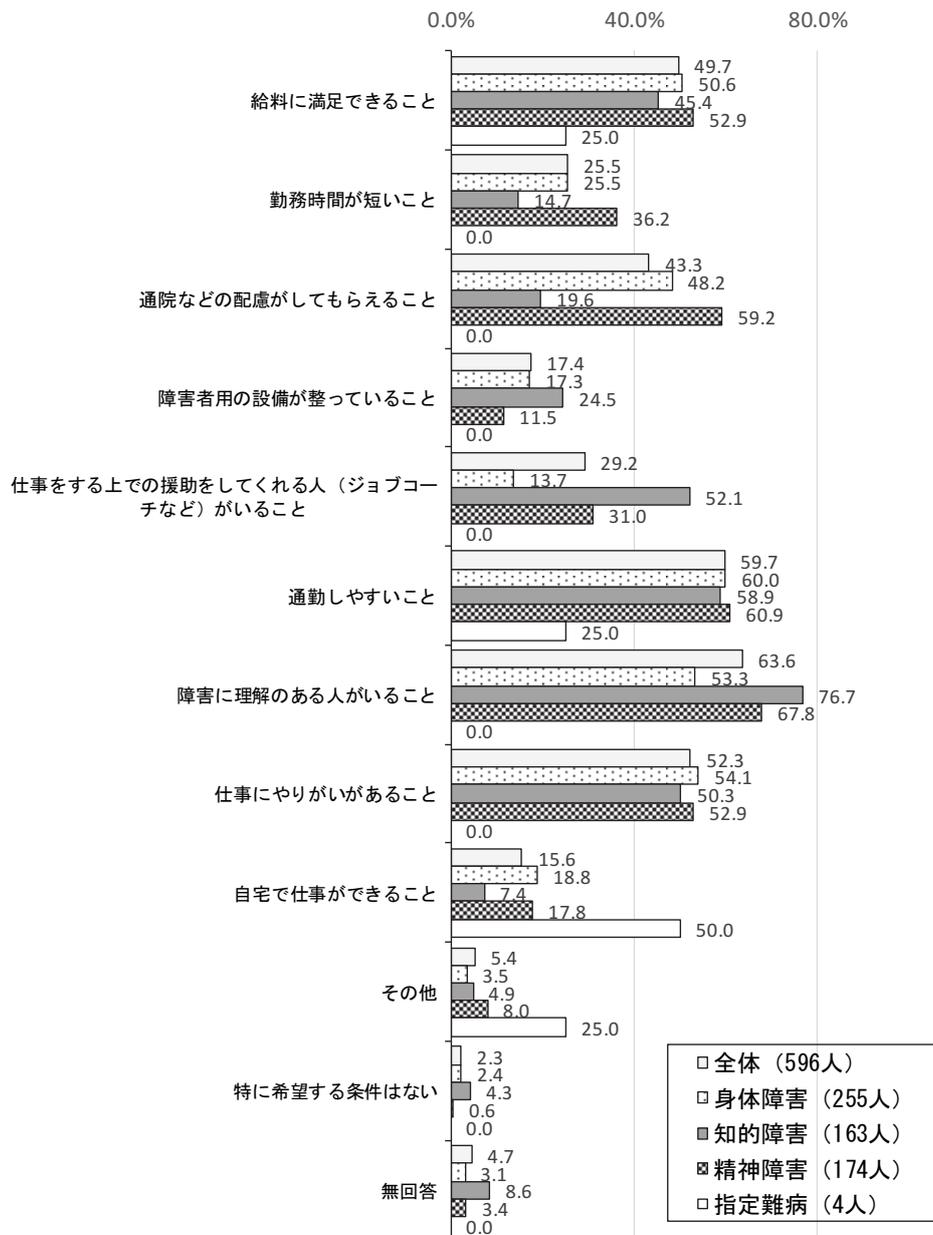


## (5) 仕事を選ぶ際の条件

仕事をしている人や今後仕事をしたい人が仕事を選ぶ条件となるのは、多い順に「障害に理解のある人がいること」(63.6%)、「通勤しやすいこと」(59.7%)、「仕事にやりがいがあること」(52.3%)となっています。

身体障害では「通勤しやすいこと」(60.0%)、知的障害(76.7%)と精神障害(67.8%)では「障害に理解のある人がいること」が最も多くあげられています。

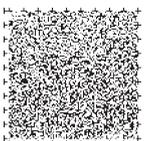
仕事を選ぶ上で希望する条件、障害別（仕事をしている方、今後仕事をしたい方）



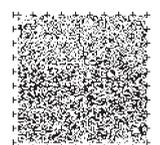
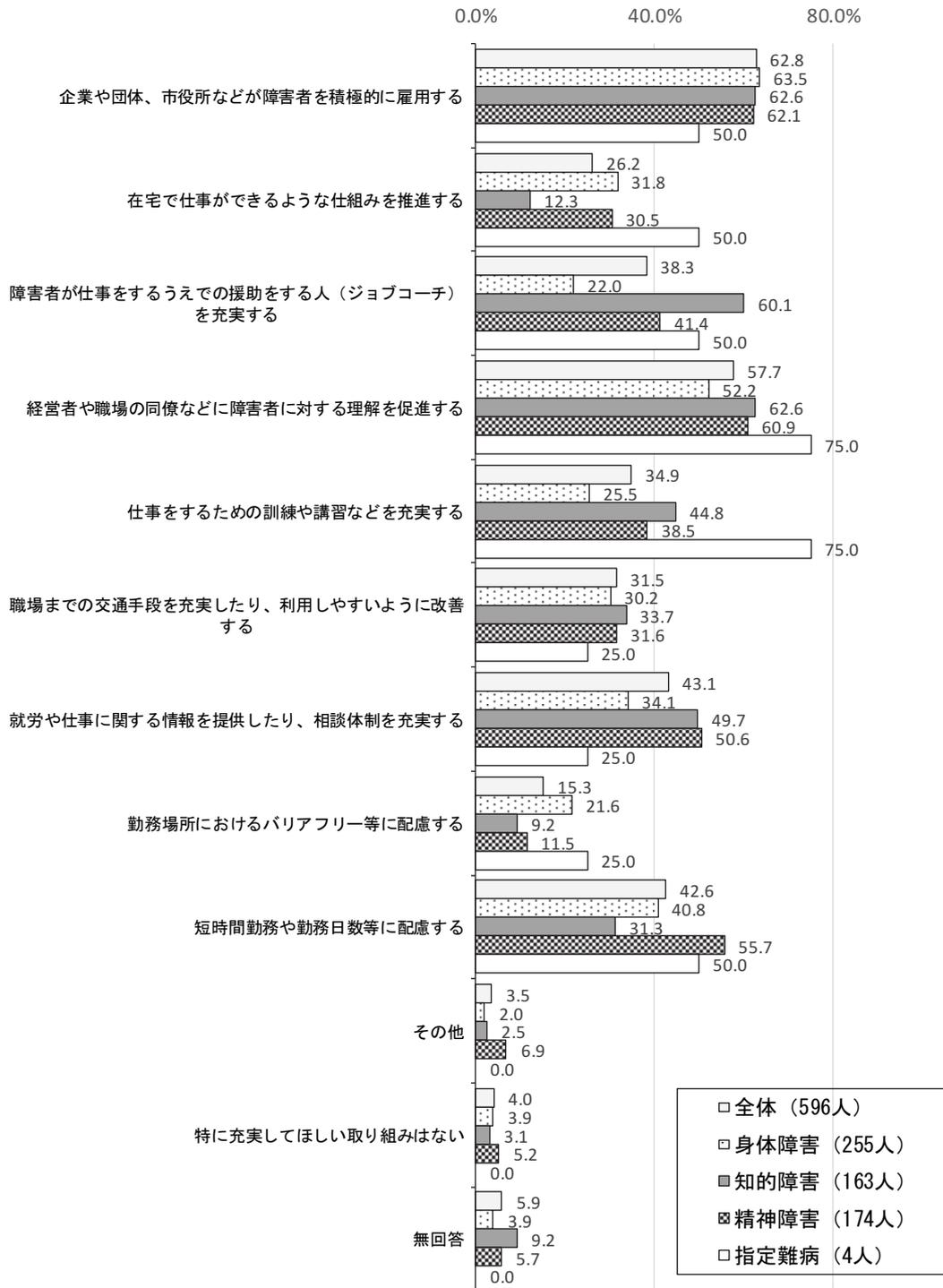
## (6) 働くにあたって充実して欲しい取組

仕事をしている人や今後仕事をしたい人が、働く上で充実してほしいことは、多い順に「企業や団体、市役所などが障害者を積極的に雇用する」(62.8%)、「経営者や職場の同僚などに障害者に対する理解を促進する」(57.7%)、「就労や仕事に関する情報を提供したり、相談体制を充実する」(43.1%)、「短時間勤務や勤務日数等に配慮する」(42.6%)となっています。

知的障害では「障害者が仕事をするうえでの援助をする人(ジョブコーチ)を充実する」も多く、60.1%を占めています。



働く上で充実してほしいこと、障害別（仕事をしている方、今後仕事をしたい方）  
 (複数回答)

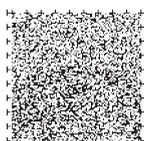
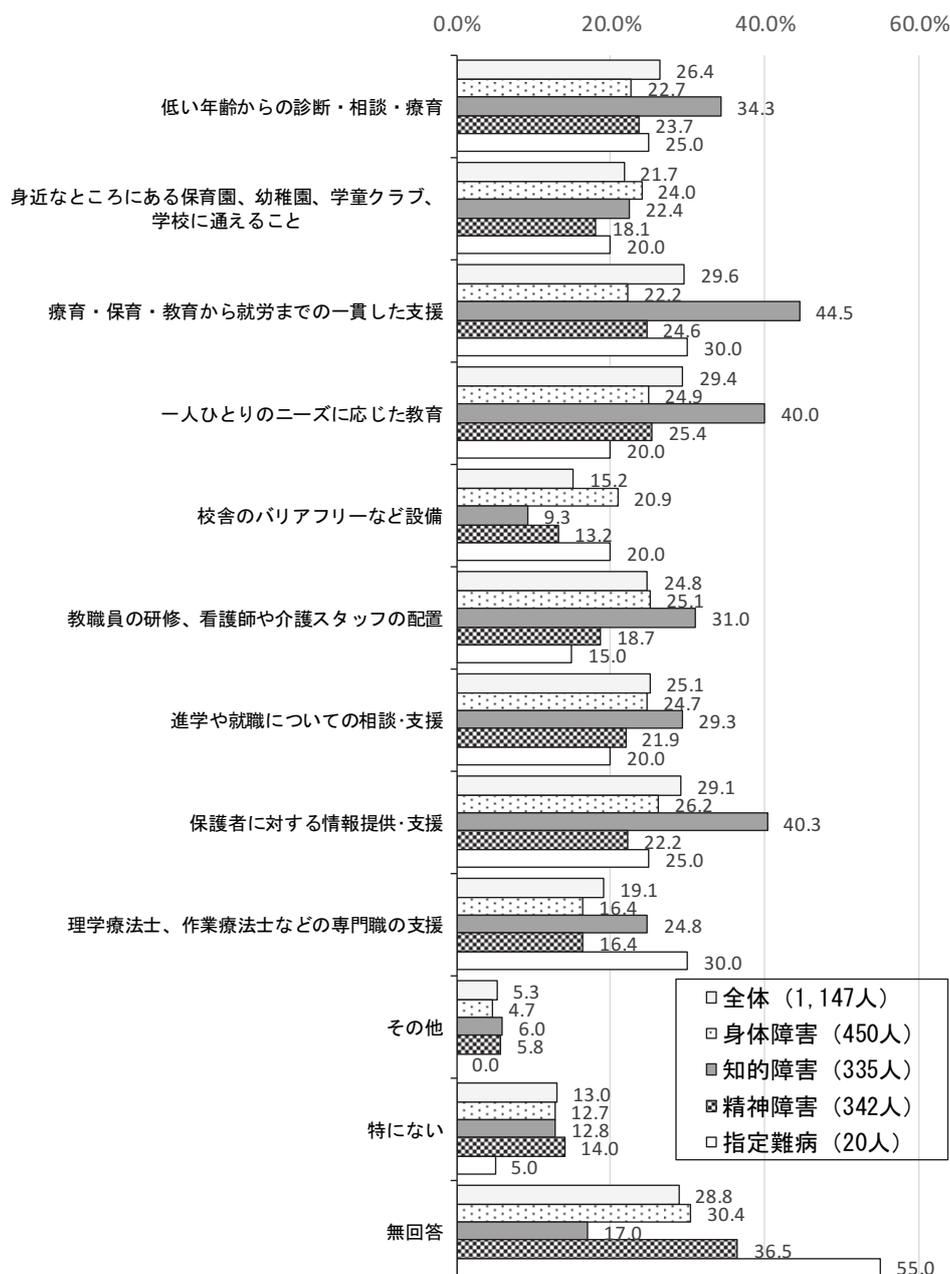


## 6. 教育・療育について

### (1) 障害のある子どもの教育・療育で不足していること

障害のある子どもの教育・療育で不足していることとして、「療育・保育・教育から就労までの一貫した支援」(29.6%)、「一人ひとりのニーズに応じた教育」(29.4%)、「保護者に対する情報提供・支援」(29.1%)、「低い年齢からの診断・相談・療育」(26.4%)など、様々な分野があげられています

#### 教育・療育に不足していること、障害別（複数回答）



## (2) 園や学校について不安や不満に感じていること

園や学校についての不安や不満についての件数は下表の通りです。

全体では「園や学校の環境や行事などの不安や不満」に関する意見が70件と最も多くなっています。身体障害では「園や学校の環境や行事などの不安や不満」が40件、知的障害では「教員・スタッフの体制等」が38件、精神障害では「理解・配慮不足や差別・いじめによる不安・不満」が18件と意見が多くなっています。

### 園や学校についての不安や不満の意見数

項目（内訳項目）	全体	身体障害	知的障害	精神障害	難病
1. 園や学校の環境や行事などの不安や不満	70	40	12	17	1
(園や学校の運営について)	37	13	11	12	1
(園や学校の施設について)	33	27	1	5	0
2. 教員・スタッフの体制等	63	21	38	4	0
(職員の知識や理解の不足)	41	10	28	3	0
(人手や体制等の不足)	22	11	10	1	0
3. 理解・配慮不足や差別・いじめによる不安・不満	49	12	19	18	0
(障害への理解・配慮不足)	36	12	11	13	0
(差別・いじめ)	13	0	8	5	0
4. 進学・就職	6	4	1	1	0
5. その他	1	0	0	1	0
合計	189	77	70	41	1

「5. その他」の内容 ・思い出したくもない

## (3) 保育所等訪問支援の利用希望について（小学生及び未就学の方）

全体として「ぜひ参加したい」（44.9%）が最も多くなっています。

### 保育所等訪問支援の利用希望について

